

### 【新任の先生のご紹介】



2018年11月に赴任しました  
神経内科の榎谷聡美です。

今までは急性期病院で脳卒中の患者さんを主に診察させて頂いていました。

当院に入院されている患者さん、またそのご家族は、色々な疾患により障害を抱えてしまったことで、生活が一変してしまい、今まで当たり前のように行っていたことができなくなった事への精神的な負担を強く感じておられると思います。医師として、そのような気持ちを受け止め、少しでも不安なくリハビリに取り組めるようお手伝いさせて頂ければと思います。

みなさん、よろしくお祈りします。



2018年12月より広島市立リハビリテーション病院に赴任しましたリハビリテーション科後期研修医の井口紘輔です。

私は、平成28年に島根大学医学部を卒業後、広島大学病院で初期研修医として2年経験を積み、平成30年に広島大学病院リハビリテーション科に入局しました。チーム医療を通じて、患者さんが病気によって生じた機能障害を経て一人一人の目標設定に応じてより良い形で生活の場に戻る。当院でもその為に他職種連携の柱となれるように尽力して参りたいと思っています。まだまだ経験と知識が浅く至らない点が多くあると思いますが、どうぞよろしくお祈りします。

### 【お知らせ】

#### 第2回高次脳機能障害セミナー 高次脳機能障害の幸せな生活を目指して

日時：2019年5月26日(日)13:00～16:30

#### 第2回高次脳機能障害セミナー

高次脳機能障害者の幸せな生活を目指して

日時 2019年5月26日(日) 13:00～16:30 (12:30～受付)

場所 広島市総合福祉センター B2F FRONT 215号 5階ホール  
広島市南区松原5-1-1 (082)244-8400

定員 200人  
参加料 無料

- 【第1会場(ホール)】
- 【第2会場(大会場)】

このセミナーは、脳血管障害や事故によって起こる高次脳機能障害についての理解を深め、障害を抱える方の社会復帰のための環境づくりを目的として、「広島市」「社会福祉法人 広島市社会福祉協議会」「特定非営利活動法人 高次脳機能障害サポートネット広島」の主催により、2019年5月26日に広島駅前の広島市総合福祉センターで開催されます。この中で、当院の宮下幸久作業療法士が「注意障害について～日常生活への影響～」というテーマで講演を行います。「注意力」「集中力」など、普段の生活で耳にする機会のある注意機能は、私たちが生活するうえで重要な能力のひとつです。

注意機能が低下すると様々な症状をきたし、病前まで出来ていたことが難しくなり、当事者を含め家族や周囲の方の生活に影響を与える可能性があります。そのため医療・福祉・介護サービスを利用し、生活を再構築していく必要があります。回復期リハビリテーションに関わる作業療法士の視点から、主に脳卒中にて生じる注意障害の特徴を紹介し、そして、注意障害が日常生活にどのように影響を与えて、それらに対してどのように取り組んでいるのかを報告します。

### 【今後の行事食の予定】



春分の日



お花見



こどもの日

予定を変更する場合や食事形態によっては対応できない場合がございます。ご了承ください。

#### 【その他予定】

- ・3月3日 ひなまつり
- ・6月上旬 入梅
- ・7月7日 七夕



### こころ通信 Vol.19

地方独立行政法人 広島市立病院機構  
広島市立リハビリテーション病院・自立訓練施設

〒731-3168 広島市安佐南区伴南一丁目39番1  
TEL(082)848-8001 FAX (082)848-8003  
e-mail riha-hosp@hcho.jp

### 【ごあいさつ】 病院長 西川 公一郎



昨年夏は、西日本豪雨で広島県も多大な被害を受けました。平成26年8月豪雨の被害は比較的限局した地区でしたが、昨年の夏は広い範囲での被害となり、悲惨な出来事が多くありました。今年は災害のない年であるように祈っています。

広島市立リハビリテーションセンターは、地域の皆さんに対し、健康増進を目的として毎年市民公開講座を行ってきました。昨年は12月2日に、～地域でいきいきと生きるために～をテーマに、「フレイル予防」についてお話をさせていただきました。「フレイル」とは虚弱、脆弱といった意味です。また、生き生き体操を体験してもらい、栄養や食事についても話を聞いていただきました。毎日の食事に気をつけ、毎日運動する習慣をつけることが、日々の健康を保つのに重要なことです。幸い、57名の方に参加していただき、好評を博しました。参加者の皆様、有り難うございました。引き続き、地域の皆様の健康に役立つような企画を行っていきます。

広島市立リハビリテーションセンターは創立11年目を迎えております。当院は中途障害を負った患者さんが、自宅や地域で生活できるように、入院患者さんを中心にリハビリを行ってきました。土日、祝日も中断することなく、365日リハビリが行えるようになりました。また、近年は入院のみでなく、外来のリハビリにも力を入れています。退院後早期の医療保険による通院リハビリだけでなく、介護保険による通院リハビリにも力を入れたいと思っています。より地域に密接した活動を行っていく予定です。

広島市リハビリテーションセンターは病院のみでなく、機能訓練や生活訓練を行うための自立訓練施設があります。また、広島市の施設となりますが、総合相談を行う身体障害者更生相談所があります。この3施設が協力して障害のある方の社会復帰を支援しており、皆様のお役に立てるよう活動しています。

2016年日本の平均寿命は83.7歳と世界一です。しかし、平均寿命のみでなく、健康で生活できる期間「健康寿命」を延ばすのが重要です。男女とも平均寿命と健康寿命の差は少なくなっていますが、男性8.84年、女性は12.35年と10年前後は、健康でなく介護を要する期間があると言われる。

2016年の都道府県別のデータでは、広島県の平均寿命は、男性81.08で7位、女性は87.33で10位です。健康寿命は男性71.97で27位ですが、女性は残念ながら73.62で46位と最下位です。(熊本県は地震のため、除外してあります。)。毎日の食事に気をつけ、毎日運動する習慣を身に付け、フレイルを予防して広島県の健康寿命を伸ばしていきたいものです。

安佐南区、西風新都周辺の皆様、地域の皆様がより健康で生活できるように、職員一同、努力していきたくと思っています。

本年もよろしくお祈りいたします。

## 【冬の行事：クリスマス会】

2018年12月17日に当院の1階プロムナードでクリスマスコンサートを開催しました。

アンサンブルユニット「七のおと Nana-note」の皆さんの心地よい演奏に患者さんやご家族、職員など150名が酔いしれ、平成最後を飾るふさわしい素敵なクリスマスコンサートとなりました。



七のおと Nana-note  
エリザベト音楽大学を卒業し活動しているフルート、オーボエ、コントラバス、ピアノ(キーボード)の同期4人が様々なジャンルの音楽を紡ぎ、優しい時間をお届けするアンサンブルユニット。

## 【RUN伴に参加しました！】

昨年10月21日にRUN伴(ラントモ)2018というリレーマラソンに当院職員が参加しました。RUN伴の正式名称は、RUN TOMO-RROW(ラントモロー)で、認知症の啓発イベントです。認知症の当事者や家族、支援者、一般市民がタスキリレーをしてゴールを目指します。NPO法人認知症フレンドシップクラブが主催し、2011年に北海道の函館から札幌までの約300kmを結んだのが初回で、少しずつ世界にも広がってきていて2017年からは台湾でも開催されています。

当院からリハビリテーション技術科の4名の職員が参加し、テーマカラーのオレンジ色の大会Tシャツを着用して走りました。当院の玄関前でタスキを受け取り、患者さんや職員に見送られながら出発しました。次の中継地点まで約9kmの道のりを、道行く人々に認知症啓発の広告を配りながら、無事に次のランナー達へとタスキを繋ぐことができました。

認知症が社会問題となっている中、こういった活動を広めていくことは当院の役割としても意義のあることであると感じました。



## 【特集】 歯科ではこんな取組をしています！！

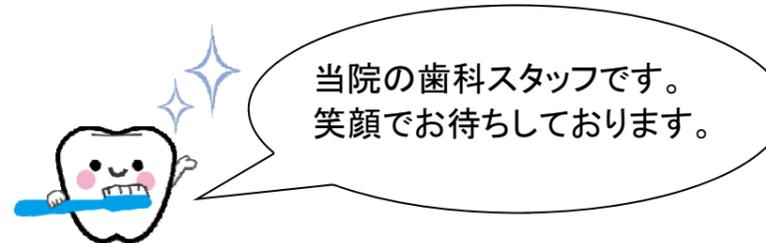
身体の回復におけるお口の役割は甚大で、食べて元気になる、声を出して話して活力がわく、噛み合わせがしっかりしていれば力を発揮でき、咬めば消化も良くなるなど多岐にわたっています。

そこで当院では、リハビリテーションの相乗効果を得るために歯科検診ならびに歯科治療を行っています。しっかり咬める口腔内にする事でお肉や野菜が咀嚼でき、栄養面からリハビリをサポートできます。しっかりと咬み合わせがあれば、食べたり飲んだりすることの障害である摂食・嚥下障害のリハビリの手助けになることもあります。このほかにも回復期リハビリテーション病院ならではの歯科からできるサポートを行っています。

当院に入院される前の急性期病院で歯やお口の健康どころではなかった方に対する口腔衛生管理。いままで歯医者に通ったことがない方へこれからの生活再建のための義歯作成や口腔内の環境整備。これから歯科へ受診することが難しくなる方に今後を考えた歯科治療。摂食嚥下リハビリテーションを行う方へリハビリができる口腔環境作り。患者さんの「これから」に寄り添える適切な歯科治療を提供していきます。

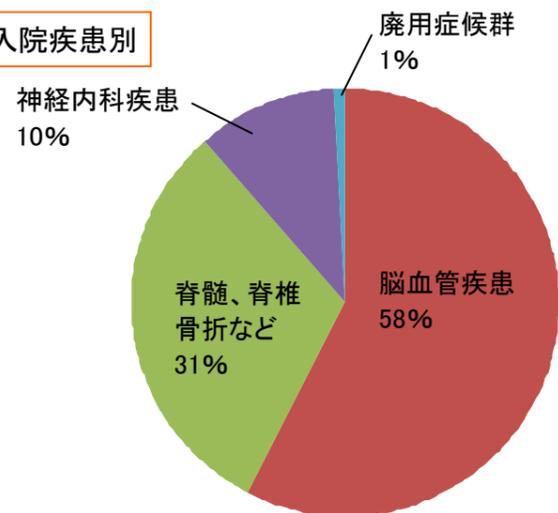
さらに、入院期間が決まった病院でもあることから、自宅退院の方には、地元のかかりつけ歯科へ病状の情報を提供し、切れ目のない歯科連携を図ったり、地元のかかりつけ歯科では車椅子で受診できないといったお困り事の相談にも応じたりするなど、退院後の生活再建にも貢献できればと考えています。

基本的には入院してすぐに歯科受診をしてもらっています。地元のかかりつけ歯科で診てもらっているから必要ないかもといったご相談にも対応していますので、お気軽にお声かけください。

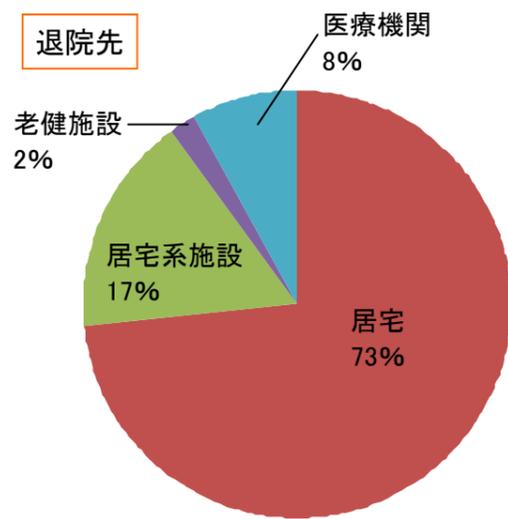


## 【診療実績 平成30年10月～12月】

入院疾患別



退院先



平均在院日数 (1患者あたりの平均入院日数)	
運動器リハビリテーション	60.0日
脳血管リハビリテーション	62.9日

患者1日あたりの平均リハ単位数 (回復期リハビリ適応患者)	8.7単位 1単位: 20分
-------------------------------	-------------------

\* 当院はリハビリテーションを365日提供しております。 2

## 【こんな訓練がある自立訓練施設～健康体操編】

自立訓練施設では、外部より講師を招いて様々な勉強会を毎週開催しています。施設利用者の訓練プログラムの一環として開催しており、定例では、健康体操、音楽療法、園芸療法、料理教室を行っています。どの勉強会も和気あいの雰囲気の中で楽しく参加できるものばかりで、勉強会を楽しみにしておられる利用者も多く見受けられます。

また、「健康体操」と「音楽療法」に関しては施設の利用者だけでなく、併設するリハビリテーション病院の入院患者も参加ができます。今回は「健康体操」についてご紹介させていただきます。

### 【健康体操の特徴】

- ①椅子に座って体操します(車椅子でも問題ありません!)
- ②音楽に乗せてフィットネス気分楽しく体操できます。
- ③講師が体操の効果を一つ一つ丁寧に説明して下さいます。
- ④呼吸法が学べます(日常生活で応用できるよう教えて下さいます!)
- ⑤リラクゼーションタイムで心身共にリラックスし体操を終了します。



「健康体操」講師紹介  
松本 直子先生(健康運動指導士)

フィットネススタジオでの指導の他、企業・自治体など地域でも活躍されておられます。

障害のある方でもできる内容です。難しい場合は、その部分を飛ばしても問題ありませんので気軽に参加できます!  
(※職員がマンツーマンでつきまわしますので移動等の支援が必要な方は付き添いの方と一緒に参加頂いています)